



MARUKO Weekly Report



2022-2023丸子RCテーマ

イマジン
ロータリー

創立60年 より深い絆でロータリーの夢を叶えま

RI会長/ジェニファーE. ジョーンズ D2600ガバナー/上沢広光

会長/宮本伸司 副会長/河野正美 幹事/斎藤育子 会報委員長/小宮山陽一

第2812回例会

2023年3月9日 Vol. 60/No. 29

外部卓話

【大正デモクラシーと丸子地域 小平千文様】



みなさんこんにちは、この機会を与えていただきありがとうございます。

20分ほどの話ということですが、作ったレジュメはそれ以上のものになっています。

適宜飛ばしながら話していきたいと思います。

「大正時代」は、1912年から1926の15年間です。この間に起きた大きな事項は、第一次世界大戦であり、関東大震災、第一次世界大戦後の戦後恐慌です。丸子地域にとっては、丸子村から丸子町になった時でもありました。

「大正デモクラシー」とは、日露戦争前後から大正末年もしくは満州事変頃にかけての政治・社会・文化などのあらゆる分野にかけて現れた民主主義や自由主義の運動・思想の流れを言います。

ここ丸子地域では、この期間「政治・社会・文化などのあらゆる分野にかけて現れた民主主義や自由主義の運動・思想の流れ」が具体的にどのように見えているのか、それを明らかにしようと思ったのですができませんでした。

今日の話の中心は、丸子町の特徴は何かということになります。

丸子地域の動きを知ったり見たりしたい時に必要な史料は、

1つは、丸子村や下丸子、中丸子村、上丸子村、腰越村と合併後の丸子町の公文書が挙げられます。これらの文書は、丸子郷土博物館に併置されている上田市公文書館で見られます。

2つめは、各村の青年会あるいは青年団によって発行された月報の『時報』があります。「村の新聞」です。この地域で発行されていた月刊の『時報』は、『西内時報』『塩川時報』『依田村時報』『長瀬時報』『丸子時報』『東内時報』があります。

創刊後から廃刊(1940.10.30)までの『時報』があれば、この間の地域の様子がわかります。

大変貴重な史料になりますが、残念ながら、『西内時報』を除いて縮刷版はありません。あっても、欠号が多くて縮刷版ができていません。みなさんのお宅に『時報』は保存されていないでしょうか。

3つめは、『上田郷友会月報』や『信濃毎日新聞』など、

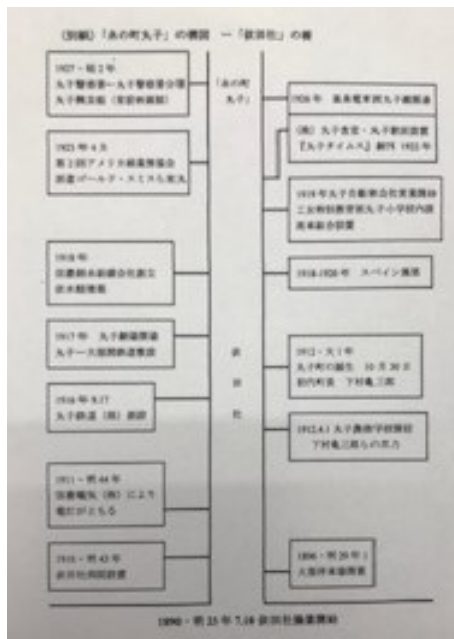
4つめは『丸子町誌』です。これらの史料を使いながら大正デモクラシー下の丸子町の特徴についてみていくことにしましょう。

大正期、丸子町の特徴は「糸の町丸子」でした。それば、依田社の繁栄による「依田社」という樹が作り

出した丸子町でした。その姿を図式化したものが「『糸の町丸子』の構図—『依田社』の樹」です。

丸子町にとって「器械による製糸の改良を目的とした製糸結社」である依田社は、大変大きな存在でした。依田社

は、下村亀三郎によって1890年、明治23年7月10日に操業を始めました。その発達は丸子町にさまざまな新しい社会を作り上げてきました。「『依田社』の樹」の図を見ただけですと、よくわかると思います。そもそも丸子村から丸子町へさせた原動力は、依田社の繁栄によるものでした。そのことから始まり日本最初の請願駅となった大屋停車場を開業させたこと、依田社病院の設置、信濃電気(株)に



による電灯がともったこと、丸子農商学校（丸子修学館高校の開校）、丸子鉄道（株）の創設、丸子劇場の開場、丸子一大屋間の鉄道敷設、信濃絹糸紡績会社の創立、依水館建築、アメリカ絹業協会ゴールド・スミスらの来丸などなどのことをもたらしたように丸子町を一変させていきました。丸子町は、いわば依田社に特化・依存したモノカルチャー的な構図という依田社の盛衰と共にあった町になっていました。

それは、時代の変化により製糸産業が衰退に向かうことにより、丸子町もそれと歩を同じくすることを意味していました。

製糸産業の繁栄した地域から精密機械産業地へと切り替えた地域は県内各地で見られせました。丸子町の対応はどうだったでしょうか。

こうした歴史をみると、時代をみながら地域の発展を図ることの難しさを感じます。

しかし、それを克服し地域の発展をはかるためには、地域住民の時代を切り拓こうとする地域を愛し育てる連帯した取り組みが欠かせないと思います。

【会長挨拶

宮本伸司会長】



皆さんこんにちは。本日は「国際女性デー」につきましてお話しさせていただきます。

1904年ニューヨークで婦人参政権を求めたデモがきっかけとなり、国連により1975年3月8日を「国際女性デー」としました。

日本でも、ニュース等で様々なイベントを紹介していました。

特に興味を持ったのが女子高校生の話でした。

それは今年から学校の制服がジェンダーレスの制服になったそうです。『男子もスカートをはいてきたい人が、登校できるような社会に早くなればいいとおもいます。』と言っていました。

私は、その話を聞いたときに、そんな時代になったんだなと思いました。

どちらにせよ、女性の社会的地位の向上は必要かつ必然です。

より良い社会にするために、性別は関係なしにして推し進めていけることを望みます。

ちなみに、「国際男性デー」と言うのもあり、11月9日がその日のようです。

〔国際男性デーとは、

国際男性デーの目的は、男性と男の子の健康に注目し、性の関係を改善し、性の平等を促す肯定的な男性のロールモデルに光を当てることを含んでいる。コミュニティ、家族、結婚および育児に関して男性と男の子への差別に光を当て、その問題に取り組み、解決していくことである。国際男性デーの最終的な目標は普遍の人道主義の価値を促進することである。〕 そうです。

【例会の記録】

*司会 山浦智城さん

*SAA 笹井寿美枝さん

*ロータリーソング それでこそロータリー

*ゲスト 小平千文様

【出席報告】

会 員 41名（内出席免除者15名）

本日の出席者 11名



本日のラッキー賞 佐藤重喜さん

「ありがとうございます。

数日あっておりませんので、妻への良いお土産になりました。」

【幹事報告

斎藤育子幹事】

今週の着信

・第2600地区より

トルコ・シリア大地震に対する支援金報告
地区災害支援金より1万ドル支援

・米山記念奨学会事務局より

米山奨学生受入に対する礼状メール

アドナン・ムハンマドさん パキスタン出身
信大繊維学専攻修士1年

5年4月より7年3月までの2年間世話クラブ

・上田東ロータリークラブより

創立45周年記念式典開催案内

5月24日 14:30～ 東急REIホテル

今週の配布

無し

今週の配信

無し

週報恵送

無し

【にこにこBOX報告】

「誕生月です。お花ありがとうございました」

工藤洋三さん

「暖かくなってきましたね。桜の下でのお花見例会楽しみです。」 山浦智城さん、河西満正さん

「小平様、卓話よろしくお願ひします。」

宮本伸司さん、斎藤育子さん、佐藤重喜さん

内堀敏高さん、小宮山陽一さん、服部正さん

河野正美さん、斎藤加代美さん

本日の喜投額 16,000円

今年度累計額 494,000円



交換学生 ルクレースさんの近況

現在学校は春休みに入りました。

時間を持て余しているようです。

今回は短期留学の為、櫻井さんのお宅にホームステイするだけです。

皆さんの中でルクレースさんを誘って出かけられる方いましたら連絡ください。

春めいてきました、是非お願いします。